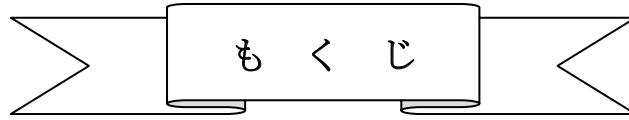


2023年度 経済学部

入門のしおり





まえがき	1
I 経済学部へようこそ	3
各経済学部教員（五十音順）	5
II 経済学部の先生方に質問	27
各経済学部教員（五十音順）	28
III 先輩から学習アドバイス	71
IV 新入生へ卒業生からのメッセージ	77
「新入生のみなさんへ」 山本 遼平	79
「新入生の皆さんへ、卒業生より」 前田 紗英	80
V 甲南大学経済学会について	81
VI 甲南大学経済学会会則	85
総会規程・評議員会規程	88
卒業生・修了者会員細則	89

まえがき

入学生のみなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この「入門のしおり」は、みなさんが経済学を学んでいく場を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生のみなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないかもしれません。ぜひこの冊子を読んで、今後の学びの参考にしていただければと思います。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、「2023年に大学生になる人へのメッセージ」をテーマとし、経済学部の先生方から新入生の皆さんへ向けたメッセージをいただいています。先生方の豊かな経験から紡がれた言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になれば幸いです。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、「新入生が知りたいこと」をテーマとした質問を先生方に答えていただいています。このページを見ることで、皆さん大学生活や経済学を学ぶことに対する恐れや不安が少しでも取り除かれることを願っています。

『Ⅲ 先輩から学習アドバイス』では、1年生の必修科目である「経済入門Ⅰ」「経済入門Ⅱ」「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」の学習に関する在学中の学生からのアドバイスを掲載しています。

『Ⅳ 卒業生からのメッセージ』では、甲南大学経済学部を卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方ほどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅴ 経済学会の紹介』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織のことがよくわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

2023年4月

甲南大学経済学会
評議員編集委員一同



経済学部へようこそ！

足立 泰美先生

石川 路子先生

石田 功先生

上島 康弘先生

永廣 顕先生

岡田 元浩先生

奥田 敬先生

小佐野 広先生

春日 教測先生

高 龍秀先生

小山 直樹先生

寺尾 建先生

中川 真太郎先生

林 健太先生

林 亮輔先生

平井健介先生

宮川 敏治先生

宮本 舞先生

村澤 康友先生

森 剛志先生

森本 裕先生



大学生になる人へのメッセージ

足立 泰美

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さん4年間の大学生活、これまでの学業生活とは異なる点が幾つもあります。その1つがスケジュール管理です。今までは、学校から決められた時間割りをこなす毎日だったのではないのでしょうか。1時間目は数学、2時間目は国語といった時間割りが既に組まれた小学校、中学校そして高校生活。しかし大学生活は違います。スケジュールは真っ白です。その白紙のスケジュールに、自分だけの予定表を創り出していきます。

まず受講科目の登録が最初にあります。学士を取得するために、最低でもどの科目を、何単位履修しなくてはいけないのか。1年目には何を修めておかねばならないのか、2年目にはどの科目を選択しておくのがよいのか、3年目は1年目と2年目で培われた知識をどう発展させていったらいいのか。シラバスを読み進めながら大学の所定の規定を理解し、興味のある科目、勉強してみたい科目もしくは単位のとりやすい科目を調べ、選択し、そして自分だけの唯一の時間割を作成します。その時間割を踏まえて、アルバイトや多様なサークル活動などのスケジュールを入れていきます。

一日、一週間そして一月、自分が決めたスケジュールで生活を繰り返し送り、大学生活から就職に視点を向ける時には、この時間の積み重ねが、おもいおもいの力となります。そこには一日24時間という制約された条件のなかで、自分の杓子定規で何に時間を投入するかを選択し、一定の成果を見いだそうとします。つまり、自分の選択が大学生活4年間の学業の蓄積と多様な見識となり、将来への道に繋がる原動力となります。

どうぞ新入生の皆さんが、この4年間を有意義に過ごし成長することを切に願っています。

「自分のモノサシ」を見つけよう

石川 路子

入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の拡大がまだまだ予断を許さないなかで、みなさんの中には新たな大学生活に不安感を抱えている人もいるかもしれません。もちろん、この状況を楽観視することはできませんが、ぜひ「できないこと」を数えるよりも「できること」を考え、さまざまなことに挑戦してみてもらえれば嬉しいです。

近年、私たちの社会は過去に例を見ないくらいのスピードで変化し続けています。このような社会で生き抜くためには何が大切なのでしょう。それは「何に価値を見出すのか」といった自分のモノサシ（価値観）だと思っています。

これからみなさんは、カリキュラム選択時や就職活動時など、多くの場面で自分の意志が問われる場面に直面します。その時に重要なのがモノサシ。自分にとってより良い選択肢は何かについて「自分」で判断できなければ、後に後悔や不満が残ってしまうかもしれません。

もしかしたら「自分で決めるのが怖いから誰かに決めてもらいたい。絶対に後悔しないから！」という人もいるかもしれませんね。ただ、あなたのことを本当に理解しているのはあなただけ。「相性診断」「適職診断」等、ネットでは皆さんの決断を左右するサイトで溢れていますが、恋愛の行方や将来の夢までも「単なる確率」だけで決めちゃってもいいですか？（笑）

もし自分のモノサシに不安を感じるなら、単に他人のモノサシを借りるのではなく、自分のモノサシをアップデートする努力をしてみてください。アップデートする方法は、自分とは異なる立場の人たちと積極的に交流すること。その過程で、実はモノサシを創り上げるには「自分自身がどのような人生を歩みたいのか」という大きな夢や目標を持つことが重要であることがわかつていきます。また、さまざまな人のモノサシを知ること、自分のモノサシが絶対的なものではないこと、他人を評価することの難しさを改めて実感することができますが、これらのことを理解することも、社会人になる上で重要な経験となります。

自分の人生設計を他人任せにしても、決して面白くないですよ。他人と違うのは当たり前。だからこそ自信を持って「自分のモノサシ」を使えるようにしましょう。「みんながやってるから」「サイトで調べたら評価が高かったから」といった判断からは卒業して、自分で自分の道を切り開くことができるような社会人を目指してください。大学生活は、そのような自分になれるチャンスを大いに与えてくれます。ぜひみなさんがこれから楽しく充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学での「研究」

石田 功

大学での学業はこれまでとはどう違うのでしょうか？いろいろありますが、ひとつには大学では「研究」のウェイトが大きくなることがあげられます（いきなりではないですが上級生になるにつれ）。国語辞典で「研究」を引くと、

1. 物事を学問的に深く考え、調べ、明らかにすること。
2. 単に、調べること。

とあります（岩波国語辞典第3版より。私が付番）。例えば、これまでも「夏休み自由研究」で何かのテーマについて本やネットで詳しく調べるといった課題には皆さんも取り組んだことがあるでしょう。そこでもテーマや教材の選定等、主体的な学習が求められ、特定の知識自体の習得だけでなく、知識を得るためのスキルの習得も目的だったと思いますが、上記2の意味での「研究」にとどまる場合も多かったのではないのでしょうか。

一方、学生による研究も含めて、大学でいう「研究」は1の意味での研究が中心になります。大学の使命のひとつには「知のフロンティアの拡張」があります。つまり、研究により、これまで誰も知らなかった新たな事実の発見や新たなものごとの見方を蓄積することです。それは大袈裟に聞こえるかもしれませんが「人類の財産」としての蓄積の作業で、厳格な科学的手続きに従うことが求められます。単に自分自身の知識を増やすための学習（インプット）ではなく、知の生産（アプトプット）活動なので、2の意味での研究とは発表の仕方も違ってきます。皆さんの2年次後期以降の少人数クラスのゼミでの「研究」が1の意味での研究であることは言うに及びませんが、ひとつの科目の簡単なレポート課題であっても1の意味での研究の準備だと理解できれば取り組み方も全く違ってきます。早い段階で「研究=2の意味」から、「研究=1の意味」に意識を移行させることが出来れば、4年間の学業もより充実したものになるでしょう。甲南大学経済学会のウェブページで、皆さんの先輩がゼミで取り組んだ研究の具体的なテーマや内容について知ることができるので、是非、参考にして下さい。

読書は「不滅の刃」(ゲームとマンガは「自滅の刃」)

上島 康弘

- ハーパー・リー『アラバマ物語』

「正しい心をもつ人は自分の才能をひけらかしたりしませんと、モディさんが言った」。

- ジェローム・サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』

「僕にはね、広いライ麦の畑があってさ、そこで小さな子供たちが、みんなでなんかのゲームをしているところが目に見えるんだよ。で、僕はあぶない崖のふちに立ってるんだ。僕のやる仕事はね、崖から転げ落ちそうになったら、その子をつかまえることなんだ。それだけをやってあげればいいんだな。そういったものに僕はなりたくないんだよ」。

- タラ・ウエストバー『エデュケーションー 大学は私の人生を変えた』

「私は貧困のなかで育った。どんなに着飾ってもしょせん、他の学生とは違うのだ。しかし、ケリー博士は言った：『自分が何者かを定めるもっとも強力な要因は君のなかにある。ピグマリオン(バーナード・ショーの戯曲)の娘ライザは美しいドレスを着た、ただの下町の娘だった。それは、彼女が自分自身を信じるまでの話だ。信じることができたとき、どんなドレスを着ようと彼女にとっては何の意味も持たなかった』」。

- ジョン・スタインベック『怒りの^{ぶどう}葡萄』:

「1セント玉を手にした父親は、キャンディの前で凍りついたようになっている2人の息子を見た。ねえさん、あのキャンディは1セントかな? 2つで1セントよ。彼がうなずくと、子供たちは恐る恐る菓子に手を出してぎこちなく微笑んだ。親子は店を出て行った。ビルが言った、あれは1本5セントだろう。それがどうしたのさと、メイが強い口調で答えた。ビルは銀貨を1枚、カウンターに置いてドアのほうへ行った」。

- J. K. ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』

「ハリーは、枕の上にいたスキャバーズを払いのけて思った。ダンブルドアは(みぞの鏡の前で)本当のことを言わなかったのかもしれない。あれはちょっと無遠慮な質問だったんだ」。

- ケン・キージー『カッコーの巣の上で』

「思うに、マックマーフィは自分を守り通すだけの強^{きょうじん}靱さを持っているのだ。あるがままの姿になりきっているからこそ、彼は強いのだ。彼のような外見の男がどうして絵を描いたり、手紙を書いたりできるのか。マックマーフィは外見の姿にこだわって、自分の生活を変えるというようなことはしなかった」。

大学で経済を学ぶ人たちへのメッセージ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから4年間、経済を学ぶこととなりますが、そもそも経済とはいったい何なのでしょう。

私たち人間（ヒト）は、生きていくために必要な財やサービス（モノ）をつくらなければなりません。現代においては、家計（個人）が企業に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入し、それを消費して生きています。この状況を「市場経済の成立」と言います。しかし、市場経済はいつもうまく機能するわけではなく、混乱や問題が生じることがあります。そこで政府（国や地方）が登場し、家計と企業をまとめて市場経済を統治しています。この政府の活動を「財政」と言います。このように、経済とは、人間が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係にもとづいたヒト・モノ・カネの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活の営みなのです。

したがって、「経済を学ぶ」ことは「生き方を考える」ことにつながると言ってもよく、「生き方を考える」ためには経済について幅広くしっかりと勉強することが必要となるのです。それは、高校までの勉強のように正解とされていることをただ暗記したり、ただ調べるだけの学習だけに終わってしまうのではなく、自分自身が置かれている現在の状況と自分自身が進もうとする将来の目標に即して、正解とされていることが本当に正しいのか、自分自身にとって何が正解であるのかを自分の頭で考え抜くことなのです。

大学生活においては、勉強がすべてではなく、クラブ・サークル活動やアルバイト、ボランティアやインターンシップなども重要であることは言うまでもありません。これらの活動から学ぶことが多いのも事実です。しかし、経済について体系的に勉強する機会を大学以外の場で得ることは難しいでしょう。自分の興味や問題関心から専門的な勉強が思う存分できるのは大学での4年間だけなのです。しかもその4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、有意義な4年間を過ごせることを心から願っています。

経済学部生となるみなさんへ

岡田元浩

甲南大学経済学部入学おめでとうございます。

これから4年間にわたり、経済学部生としての大学での学びを通じて、みなさんにまず知ってもらいたいことのひとつは、世の中や私たち自身の生活においてお金というものがもつ重みです。私の知人のひとりには、「経済学部は金儲けの仕方を学ぶところ。経済学部に入っても金儲けの仕方を学べないようなら、意味が無い」と言いました。みなさんが大学での授業を受ければ、経済学部や経済学の実態がこうした見方とかけ離れていることが、ほどなく分かるでしょう。しかし、私の知人の上記のような考えは、案外世間の多くの人々が抱えているものではないかと思われまます。それはまた、お金というものがこの世の中でいかに絶大な威力を有しているかの現れであるともいえます。もちろんみなさんも、これまでの人生の中で、お金のもつ重みを知ってきたことでしょう。そしてこれからは、経済学を通じ、改めてこの重たさをより深く認識してほしいと思います。

経済学部での学びからは是非ともみなさんに知ってほしい、もうひとつの事は、お金にひれ伏さない品性の大切さです。私が尊敬して止まない、近代日本を代表する大作家である夏目漱石は、経済学者以上に鋭く、金力の乱用がもたらす破壊的作用を強調しました。「金銭というものは・・・人間の精神を買う手段に使用出来るのだから恐ろしいではありませんか」（「私の個人主義」より）と漱石は言いましたが、実際、お金次第で、家族関係や友情にさえも容易に亀裂が生じてしまうのです。お金がすべてでない、これは真理ですが、それを私たちの実生活において全うするのは、決して容易なことではありません。それほどお金の力は大きいのです。そしてこの魔性に圧倒されないためには、私たち自身の品性を磨き上げる不断の努力が必要です。甲南大学は「人物教育」を謳っていますが、この品性の涵養はその最たるものであると、私は考えます。

Happy birthday Smith

奥田 敬

ご入学おめでとうございます。今年は経済学にとっては特別な年。アダム・スミス (Adam Smith 1723-90) が 6 月 5 日に生誕 300 周年を迎えるからです。記憶の片隅に留めていただければ幸いです。

では、一世代 (≈ 30 年) 近くお馴染み (?) の「講義の単価」のクイズを。これは 1990 年に小生が本学に着任した直後に熱心な新入生から突き付けられた難問です。経済学部生なら一応【解法 1】が正解か？

でも本意は (コロナ禍ではかなり難しそうですが) 【解法 2】と見受けました。【解法 3】は (バブル期の名残めいて) 時代遅れでしょう。

もっとエレガントな別解があればお知らせください。

【設問】

大学における 1 コマ 90 分の講義の(学生にとっての)単価を算定せよ。ただし、単純化のため、4 年間の学費総額は教科書代も含めて 400 万円とし、その間の機会費用 (生活費やアルバイト収入など) は度外視する。

【解法 1】全く無駄なく、最小費用最大便益で卒業を目指す。
卒業所要単位数は 128 単位、1 単位につき $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)
半期 15 週で 2 単位なので、 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\dots$

答え 約 4,200 円

【解法 2】折角だから(単位取得とは無関係に)聴講・質問しまくる。
1 週間 30 コマ、通年で $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\dots$

答え 約 1,100 円

【解法 3】4 年分の在籍料と割り切り、出席も留年も気にしない。
1 日あたりの在籍料は、 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\dots$ (円)
90 分あたりに換算すると、 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\dots$

答え 約 170 円

敵対的企業買収について

小佐野 広

最近の日本の新聞やテレビの経済関係のニュースをみていると、時おり、敵対的企業買収（ある企業の経営権をその企業の経営陣の了解なく買い取ってしまう事、もっとひらたく言えば、ある企業を乗っ取って既存の経営陣を交代刷新すること）という言葉を目にします。しかも、敵対的企業買収が成功したというニュースも目にします。実は、これは数年前以前の日本企業では、考えられなかったことなのです。

欧米では、敵対的企業買収というのはその頻度に浮き沈みはありますが、必ずしもまれなことではありません。企業の株価がその企業の本来の価値よりもかなり低い時には、よく起こることです。とくに、買収される側の企業が本来の価値を達成して株価が高くなることは経済にとっていいことなので、敵対的企業買収は経済の効率性を達成するための重要な手段と考えられます。

これに対して、戦後の日本では、メインバンク制・株式持ち合いのような日本的な金融システムと終身雇用制・企業別労働組合のような日本的な労働システムが補完しあって和をもって貴しとする企業文化が支配し、敵対的企業買収という現象は皆無とっていい状態でした（ただし、1995年にドイツ製薬大手ベーリンガーインゲルハイムがエスエス製薬に敵対的企業買収を仕掛けて成功した例はあります）。しかし、1990年のバブル崩壊後、不良債権の増加とともに日本的なシステムが変容していくに伴い、とくに2006年になって製紙業界トップの王子製紙が当時業界6位だった北越製紙に対して敵対的企業買収を仕掛けました。もっとも、この王子製紙の試みは結局失敗しました。その後、敵対的企業買収を仕掛ける企業はありませんでした。ところが、2019年になって、伊藤忠商事 vs デサント、エイチ・アイ・エス vs ユニゾホールディングス、コクヨ vs ペンてる（最初に名前のある企業が敵対企業買収を仕掛けている企業）等といった有名企業が敵対的企業買収を仕掛ける例が相次ぎました。とくに、伊藤忠商事の場合は敵対的企業買収に成功したという点で、これまでの日本のコーポレート・ガバナンスとは明らかに違った状況が生まれているようです。

「適切な情報」に基づいて考える

春日 教測

私が高校生の頃を振り返ってみると、文科省の検定を受けた教科書の記述が正しい前提で学習に取り組んだ記憶があります。大学の講義も基本的には同様で、担当教員が選定した教科書には、明らかな事実誤認は少ないと思います。一方、基礎ゼミなどの少人数講義で「調べもの」の課題をだすと、最近はほとんどネット情報を利用して資料作成する傾向があり問題が発生する場合があります。

昔は図書館に行って書籍から情報を集めましたが、出版社には校閲部署があり詳細なチェックが行われるので、明らかな事実誤認は修正される場合が多かったと思います。ところがネット情報の場合、執筆者が記憶違いで記載した情報が残存したり第三者によって転載されたりするので、フェイク（偽の）情報が拡散する危険性があります。情報収集の際は、この点に十分留意する必要があります。

また企業情報を調べてもらおうと、HPの記載をそのまま利用する方がいます。HPに嘘は書いていないと思いますが、自社に都合の悪い情報をあえて記載する企業もないでしょう。皆さんは調査対象企業の社員ではないので、短所や弱点についてもしっかり調べる必要があります。

さらに新聞社や放送局等のメディアも、潜在的には「情報選択バイアス」問題を抱えており、海外の事例を中心に経済学の学術雑誌でも報告されています。具体的には、上記メディアは収入を企業広告に一定程度依存しているのですが、ある国のデータでは、当該スポンサーからの収入が多いとその企業や業界に関する不都合な報道が少なくなる、という傾向が示されています。逆に、メディア報道を疑いすぎてほとんど信用しなくなるのも、良い態度とは思えません。

「適切な情報」を収集するには、執筆者の信頼度や内容の正確性を常に確認する必要があります。大学生となった皆さんには、このような習慣をぜひ、早めに身につけて欲しいと思います。

大学生になる皆さんへ

高 龍 秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。大学生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。大学に入ってその夢に一步步近づいてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起こっていることに興味を持って下さい。昨年ロシアがウクライナに侵攻し始まった戦争は世界経済に深刻な影響を与えています。この戦争と為替変動による物価上昇など日本経済は多くの課題を抱えています。どのような経済政策を行えば日本がより幸せな社会になることができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本社会はより良い状況になっているのでしょうか。新型コロナウイルス感染症は私たちの社会に大きな衝撃を与えています。この新しい感染症に対して私たちはどう対応していけばいいのでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から一步步学んでいきます。みなさんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めない」ことが大切です。大学受験までは、「1つの決められた答えにいかにか早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代経済の問題では、答えは決まっていないものもあります。また、答えが1つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に考えていく勉強をしなければなりません。そのような勉強を2年生以降のゼミなどの科目で行うことになります。そこでは答えを簡単に「見つける」勉強ではなく、これまで学んだ知識をもとに時間をかけて「より深く考える」勉強が求められています。

みなさんの努力次第で「深く考える力」が付き、大学卒業までの4年間で大きく視野が広がることと思います。そのことで、「いい就職ができる力」という次元だけでなく「この社会を生きていく力」をつけることができるはずです。大きな可能性がある未来に向かって、ぜひ頑張ってください。

大学生になる人へのメッセージ

小山 直樹

経済学という学問は、

理論 (theory)、政策 (policy)、歴史 (history)

の三本柱から成り立っています。私が担当する統計入門は、選択必修科目です。統計学は、経済学において経済現象の実態を数量的に把握するための方法として、昔から重視されてきました。経済学の理論・政策・歴史のどの分野においても、統計データを通して経済の実態を把握することが「経済現象を理解する」基礎になっています。ですから、経済学を学ぶ学生諸君は、最低限、統計学の基礎を履修する必要があります。

ただし、私たち教える側（供給サイド）が用意したお仕着せメニュー通りに経済学を学ぶのも結構ですが、学生の側が、何をどう学んでいくかの選択権をもっていることをお忘れなく。つまり、学生のみなさんが、「自分はなぜ経済学を学ぶのか」、「実際に学んだ甲斐があったか」を何度でも考えて、『自分にとっての経済学を学ぶ意義』を 随時確認することが一番大切です。そして、卒業するときに、「自分が学んだ経済学はこういうものだ」と振り返ることができれば上出来と言えるでしょう。

最後に、せっかく甲南大学経済学部に入學したのですから、キャンパスライフを十分に楽しんでください。

2023年に大学生になったあなたへ

てら お たける
寺尾 建

この先、もしも勉強することに意義を見出せないときがあったならば、以下の文章を読み返してみてください。太宰治が1942年に発表した「正義と微笑^{びしょう}」という小説の一節です。

学校で、金子先生の無内容なお話をぼんやり聞いているうちに、僕は、去年わかれた黒田先生が、やたら無^む性^{しょう}に恋^こしくなった。焦^こげつくように、したわしくなった。あの先生には、たしかになにかあった。だいいち、利巧^{りこう}だった。男らしく、きびきびしていた。中学校全体の尊敬^あ的^{てき}だったと言^いってもいいだろう。或る英語の時間に、先生は、リア王の章を静かに訳し終えて、それから、だし抜けに言^い出した。がらりと語調も変^かっていた。囁^{ささ}んで吐^つき出すような語調とは、あんなのを言^いうのだろうか。とに角、ぶっさら棒^{ぼう}な口調^{くちう}だった。それも、急に、なんの予告^{よこづけ}もなしに言^い出したのだから僕^{われ}たちは、どきんとした。

「もう君^{きみ}たちとは逢^あえねえかも知^しれないけど、お互^{たがひ}いに、これから、うんと勉強^{べんきやう}しよう。勉強^{べんきやう}というものは、いいものだ。代数^{たいすう}や幾何^{きげ}の勉強^{べんきやう}が、学校^{がっこう}を卒業^{そつぎやく}してしまえば、もう何^{なに}の役^{やく}にも立^たたないものだと思^{おも}っている人もあるようだが、大間違^{おほまちがひ}いだ。植物^{しょくぶつ}でも、動物^{どうぶつ}でも、物理^{ぶつり}でも化学^{かがく}でも、時間のゆるす限り勉強^{べんきやう}して置^おかなければならん。日常^{にちじやう}の生活^{せいかつ}に直接^{ちくせき}役に立^たたないような勉強^{べんきやう}こそ、将来^{しやうらい}、君^{きみ}たちの人格^{じんかく}を完成^{かんせい}させるのだ。何も自^{みづか}分の知識^{ちしき}を誇^{こほ}る必要^{ひつやう}はない。勉強^{べんきやう}して、それから、けろりと忘^{わす}れてもいいんだ。覚^{おぼ}えるということが大事^{だいじ}なのではなくて、大事^{だいじ}なのは、カルチベートされるということなんだ。カルチュアというものは、公式^{こうし}や単語^{たんご}をたくさん諳^{あん}記^きしている事^{こと}でなくて、心^{こころ}を広く持^もつという事^{こと}なんだ。つまり、愛^{あい}するという事^{こと}を知る事^{こと}だ。学生^{がくせい}時代に不勉強^{ふべんきやう}だった人は、社会^{しやかい}に出^いてからも、かならずむごいエゴイストだ。学問^{がくもん}なんて、覚^{おぼ}えると同時に忘^{わす}れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部^{ぜんぶ}忘^{わす}れてしまっても、その勉強^{べんきやう}の訓練^{くんれん}の底^{そこ}に一つかみの砂金^{すなご}が残^{のこ}っているものだ。これだ。これが貴^{たがひ}いのだ。勉強^{べんきやう}しなければいかん。そうして、その学問^{がくもん}を、生活^{せいかつ}に無理^{むり}に直接^{ちくせき}に役^{やく}立^たてようとあせってはいかん。ゆつたりと、真^{まこと}にカルチベートされた人間^{にんげん}になれ！これだけだ、俺^{おれ}の言^いいたいのは、君^{きみ}たちとは、もうこの教室^{きやうしつ}で一^{いっ}緒^{しょ}に勉強^{べんきやう}は出来^こないね。けれども、君^{きみ}たちの名前^{なまえ}は一生^{いっしやう}わすれないうで覚^{おぼ}えているぞ。君^{きみ}たちも、たまには俺^{おれ}の事^{こと}を思^{おも}い出^だしてくれよ。あっけないお別^{わか}れだけど、男^{おとこ}と男^{おとこ}だ。あっさり行^いこう。最後^{さいご}に、君^{きみ}たちの御健康^{ごけんこう}を祈^{いの}ります。」すこし青^{あお}い顔^{かお}をして、ちっとも笑^{わら}わず、先生^{せんせい}のほうから僕^{われ}たちにお辞儀^{じぎ}をした。

以上が、いまから81年前^{まへ}に示^しされた、「なぜ人生^{じんせい}に勉強^{べんきやう}は必要^{ひつやう}であるのか？」という問^といに対する答^{こた}えです。

「点」をつなぐ

中川真太郎

米国のアップル社を創業したスティーブ・ジョブズは、かつて、スタンフォード大学の卒業式でスピーチをしたことがあった。現在でもネットで配信され、非常に有名になったこのスピーチで彼は3つの話をした¹。最初に話したのが、彼の大学時代のことだった。

彼は米国オレゴン州にあるリード大学に進学したという。しかし、入学後半年で大学を中退してしまった。中退後しばらくは、友人の部屋に居候して、興味のある授業だけを聴講していたらしい。当時受けた授業の1つにカリグラフィーの授業があったという。

カリグラフィーとは西洋の書道である。日本の書道でも楷書、行書、草書など様々な書体があるように、西洋にも様々な書体がある。彼は、カリグラフィーの授業で美しい書体はなぜ美しいのかを学んだという。

当時、その勉強が何かの役に立つとは思わなかったそうだ。しかし、約10年後、彼がアップル社（当時はアップルコンピュータ社）で、マッキントッシュの開発に携わったときに、カリグラフィーの知識がよみがえって、マッキントッシュを使えば美しい書体をいくつも利用できるように設計したのだという。その結果、コンピュータ上で印刷物の版下を制作するデスクトップパブリッシングが生み出され、出版の世界に革命的な変化が生じることになった。

これを彼は、点 (dot) と点がつながったと表現した。カリグラフィーという点とコンピュータという点が、つながったということだ。

私自身の大学卒業後の人生を振り返ってみても、大学で学んだことが、全く予期せぬ形で役に立ったことは幾度もあったし、今後もそういうことがあると思う。

新入生の皆さん。大学では単に卒業のために合格点を取る勉強をするだけでなく、それを超えて、自らの知的好奇心や情熱に応じて、様々なことを勉強してください。いつか、点と点がつながることでしょう。

¹ <https://news.stanford.edu/2005/06/14/jobs-061505/> を参照。

新入生の皆さんへ

林健太

このたびは、甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

さて、皆さんは今、激動の時代を生きているという実感をどれ程お持ちでしょうか。2007年に米アップル社がiPhoneを発売して以降、世界中の多くの方がスマートフォンを所持するようになりました。日本でも例外では無く、10代20代の大学生年代に限って言えば、所持率は90%を超えるという調査もあります。

スマートフォンの普及とともに、世の中のルールもどんどん変わっています。スマートフォンを通じて集められた（ビッグ）データを、どのように活用して利益を上げるかを、世界中の企業がこぞって研究しています。そのために、短時間で、何度もアクセスするようなサービスが数多く開発され、私たちは気づいたらスマートフォンを触っているという状態に置かれているのです。

一方で、大学で送るリアルな生活とはどのようなものでしょうか。新入学と同時に学内で友人を作る、クラブ・サークル活動を選ぶ、朝早く起きて授業に出席する、所属するゼミを選ぶ、課題レポートをこなす、定期試験を受ける、恋愛する、留学する、趣味に没頭する、就職活動を行う等々・・・、どれもこれも、時間や労力（=コスト）がかかるものばかりですね。実にタイムパフォーマンスが悪い。

だが、それがいい！

そう遠くない将来、人工知能とロボットの普及によって、私たちは余った時間をどう使うかを真剣に考えなければならない時代が来るでしょう。今の内から、スマートフォン以外のリアルライフの過ごし方について考えてみるのがとても大切ですよ、という予言をしておこうと思います。

「将来のために」を意識しよう

林 亮輔

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学で送る4年間は、皆さんにとって（おそらく）人生最後の学生生活となります。サークル活動、部活動、アルバイト、留学など、比較的自由度の高い大学での時間をどのように活用するか、様々な夢を膨らませていることでしょう。大学での4年間は、皆さんが考えている以上にあっという間に過ぎていきますので、少しでも気になることがあればチャレンジすることを恐れず、大学生生活を充実したものにしてほしいと思います。

入学したばかりの皆さんにとっては気の早い話かもしれませんが、学生時代を助走期間に例えるなら、4年後には皆さんは自分自身の力で社会に飛び立っていかねばなりません。社会では学生時代に培った様々な能力が試されますが、学生時代にどのような能力を身につける必要があるのでしょうか？

経済産業省が企業の人事担当者に対して行った調査によると、多くの人事担当者が「主体性」「課題発見力」「コミュニケーション能力」といった能力が今の学生に欠けていると答えたそうです。これらの能力を、経済産業省は「社会人基礎力」と呼んでいます。この社会人基礎力を身につけることが学生である皆さんには求められているのです。

大学は専門性の高い知識を学ぶ場であるとともに、それらの知識を得るプロセスを通じて社会人基礎力を高められる工夫が散りばめられています。しかしながら、大学に在籍しさえすればこれらの能力を高められるわけではありません。腕や足の筋力をつけるにはトレーニングが必要なように、脳の力を高める際にもまたトレーニングが必要なのです。

サークル活動やアルバイトを通じて高められる能力と学業を通じて高められる能力は異なることから、「将来のためにどの能力を高めなければならぬか」を常に自問自答し、大学を卒業する際には確かな成長が感じられるよう、充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学と保育園

平井健介

私はここ数年、一年生の必修科目『経済入門Ⅱ』において、船曳建夫「大学で学ぶということ」（小林康夫・船曳建夫編『新・知の技法』）という文章を紹介してきました。「大学で学ぶ」ことが「学校で教わる」とことと何が違うのかを解説した文章です。ただ、私は今年度、皆さんに会える機会がないので、ここで内容のほんの一部を少し紹介します。

船曳は大学の使い方について、次のように説明しています。

大学は、学校に入る前の保育所に似ています。教え込まれるような勉強はなく、粘土細工や砂遊び、絵本を読むことなど、自分でしたい「お遊戯」をすることになっていて、保母さんはあまり口出しをしない、という。大学では基礎的な勉強は押さえておかなければなりません、この保育所にも似た行動の自由度と環境を十分に生かせば、就職準備でもなく、休暇でもなく、大学にふさわしい学びと遊びをすることが出来るのです。

大学が高校よりも難しいことを教わる場だというのは、少し正しく、大いに間違っています。あなたがしなければならないことは、四年という長く短い期間の中で、経済についての自分なりのお遊戯（したいこと）を一生懸命することなのです。授業やゼミはどのようなお遊戯があるのか、いまあなたがしているお遊戯をもっと面白くするにはどうすれば良いかを見つける場に過ぎません。極端に言えば、お遊戯をしていれば授業に出席しなくてもその人は学生であり、お遊戯をしていなければどれだけ良い成績を取ってもその人は学生ではない（生徒である）、ということです。

また、園児のような友達付き合いをしてください。保育園に子供を迎えに行った時のことです。子供たちを眺めていると、急に違う遊びを始める子がいることに気づきました（たとえばみんなでトランプをしていたのに、急に一人でブロック遊びをする）。人に尋ねたところ、「それは一緒に遊んでいるのではなくて、たまたま同じ遊びをしているだけだよ。」と教わりました。皆さんも個人を基盤としない「世間」的な友達付き合いではなく、個人を基盤とする「社会」的な友達付き合いをして下さい。

「入学おめでとう」と言いたいところですが、それはあなたが学生であったかが明らかとなる卒業の時に、「卒業おめでとう」と共に言いますね。

「一生懸命になれるもの」を見つけよう

宮川 敏治

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。まずは、あまり堅苦しく考えず、4年間、何でも良いので「一生懸命になれるもの」を見つけてください。その「一生懸命になれるもの」はこの先、必ずみなさんの人生を助けてくれます。

この「一生懸命になれるもの」として、少人数の「ゼミ」での「研究」をおすすめしたいと思います。例えば、私のゼミでは、5人程度のグループで、それぞれに研究テーマを決めて、1年近くをかけてそのテーマを研究しています。具体的には、独自の仮説を立て、アンケートや実験を通じてデータを収集し、その研究成果をプレゼン大会で研究成果を発表する、という手順で行われます。

このグループ研究を通じて、

1. みんなで一つの目標に向かって頑張る楽しさを知る
2. 互いの意見を尊重しながら、議論するやり方を知る
3. 自分たちにしかできない研究成果を上げることで学問の楽しさを知る
4. データを科学的（統計的）手法で分析できるようになる
5. 視覚にうったえる資料（パワーポイント）を作成できるようになる
6. 人前で堂々とプレゼンテーションができるようになる

といった（就職活動だけでなく）実際に社会にでてからも役に立つ「技術」や「技能」を身につけることができます。大学時代に全力を傾けてやってみる価値は十分にあります。

「一生懸命になれるもの」は、勉強以外のものでも良いのですが、私が経済学のプロおよび教員としてお手伝いできるのは「ゼミでの研究」です。「ゼミでの研究」は、高校までの受験勉強では得られない大学ならではの勉強の醍醐味（いわゆる学問することの醍醐味）を味わせてくれること間違いなしです。

良かったら自分が興味を持った研究ができる先生の研究室のドアをノックしてみてください。

新入生の皆さんへのアドバイス

宮本 舞

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。僭越ながら、皆さんへ大学生活を送る上での3つのアドバイスをお伝えしたいと思います。

(1) 高校までと大学での学びには大きな違いがある。

高校までの勉強では、テストや入試でよい点数をとることが大きな目的の1つであったかもしれませんが、しかし、大学では学ぶ「力」を身につけることが重要です。例えば、自分で問題を発見する「観察力」や、その問題を解決するための「考察力」や「行動力」。これらの力を身につけるためには、時には答えのない問題に直面する場合があります。この違いに最初は苦戦するかもしれませんが、その違いを楽しんでください。

(2) 社会人には時間がない。

私自身も働き出して痛感しましたが、皆さんの想像より働き始めると自分の自由になる時間が少なくなります。コロナ禍も終わりが見えてきたので、ぜひ国内外へ旅行に行ったり、留学にチャレンジしたりと貴重なこの4年間を実り多いものにしてください。また、すぐに身近でできることでは本をたくさん読むことをお勧めします。国内外、新旧様々な本を読むことはきっと今後の財産になると思います。

(3) いろんな人との交流を。

大学には、学生も教員もいろんな人がいます。また、行動範囲が広がることによって、学外で出会う人の幅も広がることでしょう。お手本にしたい人が見つければ、その人から多くのよい面を吸収してください。「人のふり見て我がふり直せ」とも言いますが、よくない手本が見つかったならばそこから学ぶことはあるかもしれません。また、いろんなタイプの人との交流の仕方も学んでください。

皆さんの学生生活が充実したものになることを心から願っています。また、皆さんの学生生活がより良いものになるように微力ながらサポートできれば幸いです。

夢八訓

村澤 康友

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

挨拶などでよく引用されるので、聞いたことがある人も多いかもしれませんが、吉田貞雄の「夢八訓」という言葉を紹介します。

夢のある人は希望がある／希望のある人は目標がある／目標のある人は計画がある／計画のある人は行動がある／行動のある人は実績がある／実績のある人は反省がある／反省のある人は進歩がある／進歩のある人は夢がある

「夢」を持つのが難しい時代とされています。夢が見つからなくて悩んでいる人もいるかもしれません。そういう人は、まず「行動」してみましょう。そこから実績→反省→進歩→夢→…という「好循環」に繋がっていくというのが「夢八訓」のメッセージだと思います。

逆を考えてみましょう（吉田松陰の「夢五訓」、渋沢栄一の「夢七訓」はこちらの表現に近いです）。

夢のない人は希望がない／希望のない人は目標がない／目標のない人は計画がない／計画のない人は行動がない／行動のない人は実績がない／実績のない人は反省がない／反省のない人は進歩がない／進歩のない人は夢がない

夢が見つからないと言って何もしないでいると、このような恐ろしい「悪循環」に陥ってしまいます。せつかくの人生ですから、そうならないように気をつけて下さい。

皆さんが4年間の大学生活で様々なことに挑戦し、より豊かな人間に成長されることを祈念します。

経済学部生へ

森 剛志

真実を求めて・正直であれ！

若い時代は、「人生まだまだ長い」と思います。大学生になったばかりには、「大学4年間はなんと長いのだろう」と思うでしょう。でも、振り返ると、毎日すぐ過ぎ去ることがわかります。1年生の時間が100とすると、2年生は70くらい、3年生は50くらいで、4年生は20くらいの長さを感じられるでしょう。

大学一年生のときには、できるだけ多くの人と友人になり、仲間作りをして、勉強しやすい環境をつくるといいと思います。

実は、人の幸せはいろいろなところに転がっているものです。学生時代には多くのお金はありませんが、実はそれが幸せだったりします。お金があって、親から買ってもらった車をみせびらかせて乗りまわっている学生もいるかもしれませんが、決してこのタイプの人が幸福とは限りません。貧しさの中で、清貧を楽しむとき。しずかに読書して、知らない世界に思いをはせるとき。普通のなんでもない生活でも、幸せは数え切れなくあります。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを持ってください。そして少しの勇気と情熱を持てれば、さらによいです。自分の大切な青春の時間を時給1000円で売ったりせず、自分の時間を大切に。

2020年は100年に1度という出来事が、いくつもありました。コロナウィルスの蔓延、香港の出来事、普通でないアメリカ大統領選。2022年も普通でない米国上院選、大国が停戦介入せずに長引くウクライナ戦争。事実は何かわからない混とんとした社会になりました。

でも、真実を求めて、正直に探し求めることである。自分たちの同じ年代の10代・20代の若者が必至で自由と民主主義のために戦っています。真実を求めて、マスコミを信じないで、自分の頭で考えて、正直であれ！

未知に挑戦する、大学での学び

森本 裕

みなさん、ご入学おめでとうございます。これからどんな生活が待っているんだろう、どんなことを勉強しよう、とワクワクしていることと思います。


さて、高校までの勉強と、大学の学問はどう違うのでしょうか？一言でいうと、「答えがない問題の解決策を考える」のが学問です。高校までは、教科書の内容を覚えて、それを試験で書けば点数をもらえました。けれども、大学では自分で答えを発見しなければなりません。（誰も、解決策を知らないから。）

- ・日本経済がデフレから脱却するためにどうすればいいか？
- ・どうすれば地方を活性化することができるか？
- ・所得格差をなくす方法は何か？

日本社会は色々な課題に直面していますが、これらに対する処方箋は誰も知らないのです。だから、日本の将来を背負っていくみなさんが、どうすればいいのかを一生懸命考えなければなりません。そのための知識を身に付け、訓練するのが大学での学びです。授業で専門知識を学び、ゼミで先生や仲間と議論して、課題解決力を伸ばしてください。

また、大学の中だけではなく社会や世界を幅広く知ることも大切です。旅行をするもよし、留学するもよし、ボランティアもよし、色々な経験をしてください。必ず将来、役に立つはずです。

もしみなさんが、専門知識と幅広い経験を兼ね備えれば、どんな場所でも生きていけます。大学生活で大きく成長して、日本を、世界を変える人材になってくれることを期待しています。



経済学部の先生方に質問！

足立 泰美先生

石川 路子先生

石田 功先生

上島 康弘先生

永廣 顕先生

岡田 元浩先生

奥田 敬先生

小佐野 広先生

春日 教測先生

高 龍秀先生

小山 直樹先生

寺尾 建先生

中川 真太郎先生

林 健太先生

林 亮輔先生

平井健介先生

宮川 敏治先生

宮本 舞先生

村澤 康友先生

森 剛志先生

森本 裕先生





足立 泰美 (あだち よしみ)

大阪大学大学院国際公共政策研究科

修士「国際公共政策」取得

大阪大学大学院医学系研究科

博士「医学」取得

大阪大学大学院国際公共政策研究科

博士「国際公共政策」取得

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政学です。なかでも、地方財政および社会保障財政が専門です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

財政の視点から、安定した財源の確保と適切な給付をテーマに、行政・家計・企業の個票データを用いて、実証的に検証しています。

具体的には、財源については、税・社会保障負担から近年は公債のあり方について検証しています。給付は、主だって社会保障に特化し、出産・子育て・教育の政策の有効性や保健・医療・介護の機能分化と連携か給付のあり方を検討するとともに、働き方が多様化する変化を踏まえ雇用支援政策と企業・公的年金、さらには資産運用の関係を分析しています。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

現実社会をよりよくするために、臨床経験と現場でのヒアリングを通して、データに基づいて明らかにした研究内容を、教育および行政の現場に生かすことが専門性および研究の意義ととらえています。言い換えるならば、研究・教育・社会貢献によって生み出される相乗効果が、将来をよりよく変えていくことを期待しています。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

財政学・地方財政

中級科目である財政学では理論および制度を理解し、上級科目である地方財政では現実を知り、データに基づいて考えられるように、現場で活躍している専門家の講義を受講できる機会を作ることを重視しています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミとは研究を学ぶ場です。研究とは社会に寄与するものです。つまり、社会の仕組みを知り、どうして社会はうまく機能しないのか？それをみんなで考えるのが足立ゼミです。したがって、行事と研究を軸とする「学生参画型ゼミ」の運営方針のもと、社会に通用する力の習得、一生の仲間をつくること、自分力の向上の3つを柱に、ゼミでは研究に対して自分達で考えを深め、判断・行動することを大事にしています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

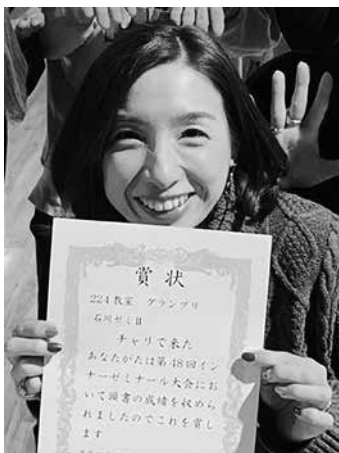
教育・研究・社会貢献ですね。授業の準備を行うとともに、仲間と供に、オンラインでヒアリング、データ収集、分析そして論文執筆等の一連の研究を行ったり、国・地方公共団体の方と意見交換をしております。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

何ともありません。都度つど今を一生懸命生きています。したいことがあれば、今していますね。

8. 新入生に一言お願いします。

思いっきり遊び、トコトン学び、チャンスがあれば挑戦する。その一連のなかで自分の限界を感じ、自分の可能性を高めてください。



石川 路子 (いしかわ のりこ)

神戸大学工学部卒業

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

私の専門分野は「地域経済学」です。都市や地域の抱える課題がすべて研究対象になるので非常に幅広い分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現在の私のテーマは生活の質（Quality of Life）の地域格差の分析です。人々の生活の質が地域によってどのように異なるのか、さらにその差がどのような要因によって生まれているのかを明らかにすることで、よりよい地域をつくるための方策を検討しています。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

私の専門分野である「地域経済学」では、社会動向や人々の行動様式の変化など中長期的な観点から都市・地域問題を捉え、「目指すべき地域のあり方」を検討していきます。その点では、人々の幸せを実現するために必要不可欠な分野であると考えています。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

私は、1年次の必修科目「経済入門Ⅰ」「基礎ゼミⅠ」、2年次科目「地

域政策」、3年次科目「地域政策ワークショップA」等を担当しています。講義形式では、「論理的思考力」だけではなく、皆さんの「行動力」を高めることができるよう、さまざまな例示を通じてわかりやすく説明することを心掛けています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

「自律性」を重視しています。社会に出ると、指示を待つのではなく自ら率先して動くことのできる人材が求められます。ゼミにおいても、自ら企画・計画を立て、目的達成のために行動する機会を多く作ることで、「自律性」が醸成できるような環境を作っています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

さまざまな会議や打ち合わせに追われていますが（笑）少しでも時間が空いたら、本を読んだり、論文等を執筆するなど、インプット・アウトプットの時間に充てています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

バックパッカーで世界中を回ることでしょうか。今は時間がなく海外旅行も限られているので、自分自身の視野を広げるべくさまざまな地域を旅してみたいと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

皆さんの可能性は無限大です。ただ、これからそれを引き出すのも潰してしまうのも自分次第です。何事にも恐れず、果敢に挑戦してみてください！



石田 功 (いしだ いさお)

Ph.D., Economics,
University of California, San Diego

1. 先生の専門分野は何ですか？

金融市場データの統計分析の方法の開発と金融市場の実証分析です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

株価や為替レートが明日上昇するのか下落するのかを予測することは難しいですが、市場価格変動の激しさ（これをボラティリティと呼びます）は過去データ分析からかなりの精度で予測できます。金融リスク管理において重要なこのボラティリティ計測・予測の精度向上方法の開発が主な研究テーマです。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

金融資産価格の研究というと「マネーゲームで儲ける研究？」との誤解をよく持たれるのですが（苦笑）、リスクとリターンのトレードオフが市場で適正に決まっているかを知ることが、経済資源のよりフェアで効率的な配分につながる金融市場制度の設計をする上でのキーとなります。私自身の研究成果の貢献は微々たるものですが、金融リスクの一側面であるボラティリティの計測・予測の研究はこの役に立っていると考えています。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

1 年次必修の「基礎ゼミ I」、「経済入門 II」、中級科目「金融」、上級科目

「ファイナンスⅠ・Ⅱ」に加え「ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を担当しています。中・上級科目では、核となるいくつかの基本的な考え方による、経済の複雑な多くの現象の理解を重視しています。例えば、「ファイナンスⅡ」では「同じモノであれば同じ価格で売買される」という単純な「一物一価の法則」から多くの結論が導けるということの理解に重点を置いています。『鬼滅の刃』に例えると、すべての「呼吸」の元になる「日の呼吸」に相当することを学んでもらい、様々な金融現象の分析道具はそのバリエーションとして身に付けてもらいたいと考えています。それにより応用力が高まると考えるからです。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

2年次では、以前はプレゼン能力向上を最重視していましたが、最近の学生の皆さんは入学時点で既にその能力が高いので、データ分析の方法の習得に割く時間のウェイトを高めています。3・4年次では、本冊子のエッセイページで述べたように、何らかの新規発見をする研究を重視しています。データの根拠を示すことにより研究の結論の説得力が高まります。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

授業準備や大学運営関係の様々な仕事をしています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

AI（人工知能）の研究者になるための勉強がしたいです。単に一番興味あることだからです。

8. 新入生に一言お願いします。

先輩等のアドバイスを聞くことも重要ですが、自分の直感も信じて、4年間、自分が本当にやりたいことを追求して下さい。



上島 康弘（うえしま やすひろ）

一橋大学経済学部卒業，大阪大学研究科修了。

1. 先生の専門分野は何ですか？

労働経済学。技術進歩やグローバル化などの変化によって，また，さまざまな法律や制度のもとで，労働条件（給料や労働時間など）と雇用者数がどのように決まるのかを考える分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

日本の雇用は今後，一人ひとりの職務（仕事の範囲）が文書で限定された欧米のしくみに近づくのか。そうなると，新卒一括採用は消えて経験者優先の中途採用が一般的になり，大学でも職業教育が重視されるでしょう。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

国の物質的な豊かさは国内総生産÷総人口＝〔労働者の数÷総人口〕×〔国内総生産÷労働者の数〕＝〔働く人の割合〕×〔労働生産性〕ですから，どうしたら働く人が増えて，一人ひとりの生産性を上げられるのかは重要な経済問題です。さらに，この豊かさを世帯間，世代間で上手く分配することで好循環が生まれて，精神的な豊かさの土台になると考えます。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

『労働経済Ⅰ』などの講義で重視していることは，まず知的好奇心をもつ学生に対して「わかる，おもしろい，ためになる」授業をすることです。他人の話はおもしろいか，ためになるときにしか聴かないから。次に，練習問題を出して，

向上心をもつ学生に対して解き方を一人で考えてもらうこと。「順序立てて考える力」を身に付けてほしいから。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミで重視していることは、自立心をもつ学生に対して「きちんと考えるとはどういうことか」を伝えること。他人の評価に一生、振り回されないため。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

メールの返信。直接会って話せば1分で伝えられるのに..

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

部活でワイワイ騒いで、いろいろな授業をつまみ食いし、気に入った学問に出合ったら図書館で一人、勉強すると思います。45年前にそうして、いまよかったと思うから。

8. 新入生に一言お願いします。

昨年の夏に、「宗教2世」だったタラ・ウエストーバーが書いた『エデュケーションー 大学は私の人生を変えた』（早川書房）を読みました。途中で何度も“*That is only your imagination, Dad!*”とつぶやきました。そして、45年ぶりに「なぜ大学に行くのか」を考えました。

大学に行く意味は、高校卒業までの17年間、耳から吹き込まれた大人の言葉を検証し再考して、自分自身の物差し（規範と価値観）を作ることだと思います。私にとって、一人で学問（の考え方）に向き合った時間と、リスペクトできる先生と友人たちと議論し交流した経験が財産になりました。

みなさんがスマホから自立し、好きなことを見つけて、大事なことに気づかせてくれる人・本・旅に出会うことを期待します。サムライはスマホを見ない。



永廣 顕 (えひろ あきら)

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政金融論、財政金融史が専門分野です。特に、財政と金融の境界領域といえる公債や財政投融资を中心に歴史と現状を研究しています。また、社会保障（年金・医療保険など）についても研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。現代日本の財政・金融政策の特質は 1910 年代後半から戦時期を経て戦後から 1960 年代にかけて形成されたのではないかという問題意識を持ち、大学院時代から研究を続けています。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

経済学の中でも、財政学・金融論の分野は、経済学だけでなく、政治学、行政学、経営学、会計学、社会学との隣接分野であり、社会全体、世の中全体を幅広く理解するには有効であると認識しています。また、意外と解明されていない歴史的事実が多く、地味ではありますが歴史分析も必要であると感じています。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

担当科目は基礎科目の「経済入門（財政分野）」、中級科目の「財政」、

上級科目の「地方財政」などです。いずれの授業においても、「財政が私たちの生活とどのように関わっているのかを認識できる」「テレビ、新聞、インターネットの財政に関するニュースや記事、コラムの内容を「正確に」理解できる」ようになることを到達目標に授業を展開しています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミ生に期待していることは、「常に「ゼミ」に関心を持ち、ゼミ活動に積極的に参加すること」「ゼミを通じて「大学」で「研究」することの「楽しさ」と「難しさ」を経験すること」「メリハリのある、オンとオフの切り替えができるバランス感覚を大事にすること」です。これらを通じて、大学生活の中で、3年間、ゼミで一緒に学び、お互いの信頼関係の下で楽しく活動していきたいと思っています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

研究室で授業の準備（授業資料、授業ノートの作成など）や自身の研究（資料の整理と分析、研究論文の執筆）などを行っています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

体系的な勉強（専門問わず）と長期の旅行（特に海外）です。前者は、若いうちにしっかりとしたモノの見方や考え方を身につけたいため、後者は、人間としての視野を広げたいためです。

8. 新入生に一言お願いします。

「総合大学」である「甲南大学」で、勉強やクラブ・サークル活動など、自分にとっての興味や関心を見つけて、4年間それに精一杯打ち込みましょう！何事においても前向きに取り組むことで視野が広がり、必ず自身の成長につながると思います！



岡田 元浩（おかだ もとひろ）

同志社大学院経済学研究科博士後期課程中退

1. 先生の専門分野は何ですか？
経済学の歴史。
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
19世紀後期から20世紀前期に至る労働学説の批判的研究。
3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？
歴史研究を通じて現在と将来の経済学のあり方を問うこと。
4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？
「経済入門Ⅱ」（経済の歴史と思想 分野）、「経済学の歴史」、「現代経済学の諸潮流」等。
私たちの将来は、過去の経験とその自省をつうじて、形作られます。同様に、歴史を学ぶことの究極的意義がより良い未来のためにあることを、私の授業をつうじて知ってほしいと思います。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミにおいて肝心なことは、仲の良い友達を作ることではなく、艱難を共にして学び活動する良き同輩を得ることです。なぜなら、それが大学を出て社会人となったときに一番の糧となるからです。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

主に読書と語学学習。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

実際の大学時代にできなかった海外旅行、恋愛、数学の勉強 etc.

8. 新入生に一言お願いします。

「明日死ぬがごとく生き、永遠に生きるがごとく学べ」(Mohandās Karamchand Gāndhī)



奥田 敬 (おくだ たかし)

1958年生

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程

単位取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済学史 (History of Political Economy)

社会思想史 (History of Social Thought)

* 「ナポリ啓蒙 Illuminismo napoletano」

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

18世紀南イタリアにおける〈経済学〉の「初心」と「挽歌」。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

「経済学」を人類史的に捉え直すことでしょうか。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

中級科目の「社会経済思想」Ⅰ [古代・中世]・Ⅱ [初期近代] と
上級科目の「日本の経済思想家」を主に担当しています。

考えるヒントとなるように、できるだけ多くの古典の紹介に努めています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

古典を現代に生かせるように、様々な読み方を試みています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

古典だけとは限りませんが、本を読んでばかりいます。
(ここ2年間は書類と会議に追われていましたが……。)

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

ヨーロッパだけでなく、アジアの諸言語も習得したいと思います。
(できるだけ原文で確かめたいので。)

8. 新入生に一言お願いします。

マルクス『資本論』序文の有名な結句：

Segui il tuo corso, e lascia dir le genti!

(汝の道をゆけ、他人がどう言おうが。)

これは実はかなり捻りがきいています。

ダンテ『神曲』煉獄篇 5:13 の原文では、
Vien dietro a me (俺に続け。) ですから。



小佐野 広 (おきの ひろし)

京都大学経済学部卒業
大阪大学大学院経済学研究科で博士取得
滋賀大学経済学部、大阪大学大学院国際公共政策研究科、京都大学経済研究所等で勤務

1. 先生の専門分野は何ですか？
コーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンス、情報の経済学
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
情報の経済学の理論的・数量的分析手法を応用して、フィンテック、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資、行動ファイナンスなどの新しい分野の問題を研究すること。
3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？
経済現象は時がすすむにつれてどんどん変わっていく面があるが、そういう新しい経済現象を解明するところにあると考えます。
4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？
経済学特論Ⅰ、経済学特論Ⅱ、PC統計学。自分の頭で考えてもらうことで、それが社会に出てから役に立つからです。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

これも上記と同じ回答になりますが、とくに、積極的にゼミに参加して発表や発言をしてもらうことです。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

基本的には、自分の研究をしています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

いろいろ、旅行をしてみたいと思います。新しい経験が得られるからです。

8. 新入生に一言お願いします。

私の高校時代に、その高校の卒業生で大きな銀行の頭取になっている方が高校に講演にやってきて、「自由に考え自由に行動しその責任は自分で取れ」といわれたことを思い出しました。この言葉を、そのまま、新入生の方々への一言とします。



春日 教測 (カスガ ノリヒロ)

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究所
博士課程 (産業組織論、経済政策)

1. 先生の専門分野は何ですか？

産業組織論という分野で産業の競争状況や企業の戦略を、データに基づき実証的に検証する研究を行っています。「この企業行動の背後にはどのような経済合理性があるのか」と考えをめぐらせることは、良い頭のトレーニングになっていると思います。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

メディア産業および情報通信産業に焦点を当てて、以下のようなテーマについて分析しています。

- ・テレビや新聞等のメディアが伝える情報が人々の行動に与える影響
- ・情報通信分野の新しいサービスに関する人々の選好

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

理論分析では、仮定の相違によって異なる 2 種類の結果が導かれることがあります。「現実にはこちらの結果が多いようだ」とデータ分析によって示せた場合に、不透明な事象の解明に少しでも貢献できたという意義を感じます。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

担当している入門科目 (数学入門) では、正確な定義はレジュメに

記載し、講義では（多少正確性を犠牲にしても）直観的に説明することを心がけています。上級科目（産業組織Ⅰ・Ⅱ）では、直近に起きた現実の事例をできるだけ多く紹介するように努めています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

特にゼミⅡにおいて、ゼミ外の世界を意識した活動を行う事を目標にしています。具体的には、インゼミ大会で他ゼミと競り合うことを含め、他大とのディベート大会への参加や、資格の取得&企業分析等を行っています。メンバーと相談しながら、社会人としての自分の姿を想定した活動を行ってきたいと思っています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

授業準備（資料の印刷・提出物の採点整理等）のほか、学内委員会へ出席しています。コロナ禍以前は研究会や政府審議会等へは直接出向いていましたが、最近では研究室から遠隔会議システムを利用して出席することも多くなりました。また赴任以来 10 年ほど生協の理事を務めており、その業務を行うこともあります（大学に来られた際は、是非、生協をご利用ください。ご意見・ご要望も承ります）。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

1 ヶ月以上の長期海外旅行に行きたいですね。「効率性」を重視した有名スポットのみを訪問する旅ではなく、ある程度長期に滞在しつつ数か所を訪れる形が良いです。時間に余裕があるのが大学生ですし、多様な価値観を学ぶには絶好の機会だからです。

8. 新入生に一言お願いします。

大学は一方的に教わる場ではなく、講義に対する質問や意見、ゼミでの議論等を通じて共に学ぶ場でもあります。これから4年間、一緒に経済学を勉強していきましょう。



高 龍秀 (こう よんす)

1984 年に大阪府立大学を卒業し、1991 年
大阪市立大学大学院を修了。

1. 先生の専門分野は何ですか？
国際経済学とアジア経済です。
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
サムスン電子など韓国の企業を研究しています。
3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？
かつては後発国と考えられていた韓国などがどのようにして目覚ましい経済発展を遂げたかという研究は、他の発展途上国にも役立つ意味があります。
4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？
1 年次必須科目の「経済入門 I」を上島先生、石川先生と共に担当しています。アメリカやヨーロッパ、アジアなど世界経済の特徴を理解してほしいと考えています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

アイスブレイクなどによりゼミの学生どうしがなるべく多く話せるように努めています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

研究と関連がある本、論文を読んだり、会議に参加したりしています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

同学年の学生やサークル仲間との会話、先生との会話の時間を大切に
して、充実した学生生活を送りたいと思います。振り返ってみると、人から学ぶことが大切だと考えたからです。

8. 新入生に一言お願いします。

大学時代に大切な友達を作りましょう。

大学時代に打ち込める何かを見つけましょう。

世代を超えて、いろんな人と話をするのはとても大切です。

授業で先生の話をよく聞くこともその意味で重要です。

授業にちゃんと出て先生の話をよく聞きましょう。



小山 直樹（こやま なおき）

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

統計学、経済統計学、および計量経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

授業改善アンケートデータの分析を行っています。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

統計学、経済統計学、計量経済学のいずれにおいても、データを相手にする研究です。データを洗っている（分析対象のデータについて予備的にいろいろ調べている）とき、思いもよらぬ発見をすることがあります（ただし、そのほとんどが思い込みですが）。なにが飛び出してくるか、わくわくしますね。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

統計入門、数学入門、経済数学などです。いずれの科目においても、経済専門科目を学ぶ上で必要な数学・統計学スキルをマスターすることを最重要の目的としています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

大学生としてのスタディスキル「調査・研究・発表」を、実践の繰り返しを通じて修得・研磨することを最重要視しています。なぜなら、これらは卒業後の人生でも様々な応用が利くからです。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

研究室で過ごしていることがほとんどです。やっているのは、授業準備および調査研究です。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

1年次生のときに「統計学総論」を一発で合格したいです。なぜなら、私は「統計学総論」を2度不合格になっているからです。

8. 新入生に一言お願いします。

マイペースで行こう！



寺尾 建（てらお たける）

1991年 京都大学経済学部経済学科 卒業

1996年 京都大学大学院経済学研究科 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？
——マクロ経済学です。「経済全体」を対象とするマクロ経済学は、ミクロ経済学と並んで、経済学全体の「土台」となっている分野です。
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
——上でも書いたように、専門分野はマクロ経済学なのですが、経済学を学び始めた頃から、経済学の成り立ちに強い関心があり、ここ数年は、「経済学は、なぜ数学的になったのか？」「経済学が数学的であることには、どのような意味や意義があるのか？」という問題について考え続けています。
3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？
——人々が陥りやすい「誤解」「勘違い」「思い込み」を検出して、それらを避けるための考え方を提示することです。
4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？
——講義形式の授業科目としては、「入門マクロ経済学」「中級マクロ経済学」「上級マクロ経済学Ⅰ」の3つを担当しています。いずれの授業科目においても、「人生において繰り返し使うことになる」という意味で「汎用性の高い思考法」を学生が確実に身につけることを重視しています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

——「リードするのではなく、バックアップすること」と「ボスになるのではなく、サポーターになること」の2つです。「教員が絶対にしてはならないのは、学生の心を支配して、その自由を奪うことである」と考えているからです。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

——①授業の準備 ②研究の準備 ③会議の準備 が主なものです。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

——もしも再び大学生になれるのだとしたら、①気が合わない人を避けずに、話をしてみる ②気が合わない人からの誘いであっても、断らない ③気が合わない人であっても、こちらから誘ってみる ということを中心掛けます。大学生のときには、気が合う人とししか付き合わなかったのですが、そのことによって自分自身をかなり甘やかすことになってしまっていたのだと、仕事をするようになって（気が合わない人とも協力しなければならないようになって）反省する機会が少なくなからず（大学を卒業してから30年以上が経つ現在でも、年に数回はあります）。

9. 新入生に一言お願いします。

——「自分のすることは世界を知ることにつながっているか？」「自分のすることは自分を知ることにつながっているか？」「自分のことは世界と自分をよりよいものにすることにつながっているか？」という3つのことを自身に問いかけること、そして、「この先、自分は永遠に大学生のままであり続けるわけではない」ということを、片時も忘れないようにしてほしいです。



中川 真太郎

(なかがわ しんたろう)

京都大学大学院 経済学研究科
博士後期課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

公共経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

公共財の研究です。公共財というのは、対価を払った人も払わない人も誰でも利用でき（非排除性）、また、ある人が利用しても、他の人もそれを同じように利用できる（非競合性）という2つの性質を持つ財を言います。「そんなものが現実にあるのだろうか」と思うかもしれませんが、しかし、たとえば、地球の自然環境がもたらす恩恵は、世界中誰もが利用できますし、また、ある人が利用したからと言って他の人が利用できるわけではありません。そのため、地球環境は公共財の1つです。この他にも様々な問題が公共財の性格を持っています。私は、この公共財の理論を用いて、地域の防災や国際社会の安全保障など、現実の様々な問題を分析する研究に取り組んでいます。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

公共経済学の意義は、市場の失敗の原因と対策を明らかにすること

にあります。政府の介入もその文脈の中で位置づけられます。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

基礎ゼミ、公共経済、公共政策、震災と地域経済Ⅰ・Ⅱ、ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲです。科目の詳細についてはシラバスを参照してください。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミの履修要項やシラバスを参照してください。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

研究、授業の準備、学生面談、会議、打ち合わせ、学内運営関係の事務作業等を行っています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

人生は不可逆です。

8. 新入生に一言お願いします。

人類の歴史は、長期的に見れば野蛮な社会から理性的で自由な社会へ進んでいると言えるでしょうが、一方で歴史上、繰り返し、野蛮な社会、欺瞞に満ちた社会への退行が起こっています。広く世界に目を向け、現実の政治や経済に関心を持つとともに、経済学や政治学、哲学などから人類の叡智を学んで欲しいと思います。



林 健太（はやし けんた）

本山第三小 → 本山中 → 報徳学園高 →
神戸商科大学 商経学部 管理科学科 →
大阪大学 大学院 国際公共政策研究科

1. 先生の専門分野は何ですか？

情報通信経済学です。インターネット・ビジネスにまつわることを研究対象としています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

昔はインターネットを如何に（早く）普及させるかといった、ハードウェアの整備に関心がありましたが、現在は、インターネット上を流れる様々なコンテンツを、人々がどのように消費しているのかを研究しています。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

インターネットが、今後はメタバースに置き換わる（かもしれない）など、情報通信技術の進歩と普及は、私たちの生活に大きく影響します。事実、コロナ禍においては、多くの人が仕事や授業を、ネットを通じて行えることに気がつきました。情報通信技術を用いれば、通勤・通学時間を別の作業に充てられる、すなわち、空いた時間で、何をどのように消費するかが、これからは大きな課題になると考えています。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

2023年度は、「ゼミ」以外では、1年次配当の「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」と、

3年次以上配当の「ネットワークエコノミクスⅠ・Ⅱ」を担当します。
これらの内、講義形式の授業は「ネットワークエコノミクスⅠ・Ⅱ」になりますが、毎回、「今週のITニュース」として、直近で登場した新技術や新制度に関するニュースをいくつか紹介し、解説するようにしています。その理由は、世の中で実際に起こっていることを受講生に知ってもらい、未来に目を向けてもらいたいからです。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

簡単に言えば、大学生活の中でゼミを楽しんでもらって、卒業後も互いに気兼ねなく連絡を取り合えるような関係を築けるのが理想です。学生時代の恩師や仲間は、一生ものの財産ですから。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

ほとんどは授業のための準備です。ゼミ生の書いたレポートを読んでコメントしたり、オフィスアワーに訪ねて来る人があれば、相談相手になったりもします。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

起業です。大学2年生の時に、友人たちとシェアハウスをしながら、当時出たばかりのインターネットを使った会社を作らないかという話で盛り上がっていた矢先に阪神淡路大震災が発生し、計画は無に帰しました。あのとき地震が起こらなければ、私たちが楽天やYahoo!を作っていたよな(たぶん(笑))、と、今でも思う時があります。

8. 新入生に一言お願いします。

あまりタイムパフォーマンスを重視し過ぎず、時には無駄と思われることも色々と経験しながら、大学生活を大いにエンジョイして下さい。



林 亮輔（はやし りょうすけ）

関西学院大学経済学部卒業

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程修了

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

専門分野は「公共政策」です。公共政策とは「民間部門では解決することのできない公共的問題を解決するために公共部門が実施する政策」のことですが、公共部門の中でも地方自治体や国に焦点を当て、地方自治体や国が実施する公共政策について研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

グローバル化、少子高齢化、東京一極集中といった社会経済環境の変化の中で、多くの地域が衰退し、中には持続可能性すら危ぶまれている地域も存在します。持続可能な地域経済システムの構築という目的のもと、地域経済力の強化や、地域政策の担い手である地方自治体の行政運営の効率化を柱として研究を進めています。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

地域が抱える課題を研究していることから、地方自治体や国の政策を担う方々と一緒に仕事をする機会があります。その際、自分自身が行った研究の成果が活かされることで、地域課題解決の一助になることが、自分自身の研究の意義だと考えています。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

担当科目は、公共経済・公共政策・地域政策・地域政策ワークショップです。講義形式の授業では、大人数に対して同じ内容を伝えることから、一人一人の興味・関心に細かく応じることはできません。少しでも多くの学生に学ぶ意欲を持ち続けてもらうため、身近なトピックを取り上げるなど、知的好奇心をいかに刺激するかを重視しています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミは大学生活の中心に位置することから、ゼミ活動が大学生活の充実度に直結します。そのため、積極的に学び、積極的に遊ぶといったメリハリのある、「参加することが楽しくなり、自分自身の成長が感じられる」ゼミ運営を目指しています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

主に研究、学内業務、授業準備などをしてしていますが、インゼミ大会や他大学との研究報告会といったゼミのビッグイベントが近づいてくると、ゼミ生が行っている研究の相談を受け、ゼミ生と一緒に頭を悩ませています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

自分自身の大学生活にそれほど後悔していませんが、もしも大学生に戻れるのであれば、先生方が授業でどのような工夫をされているのかを学びたいと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

大学では皆さん自身に時間の使い方が委ねられています。したがって、時間をどのように活用するかで今後の人生が大きく変化します。そのことを常に心に留め、有意義な学生生活を送ってください。



平井健介（ひらいけんすけ）

慶應義塾大学大学院経済学研究科
博士（経済学）

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済史。経済学と歴史学の二つの分野に片足ずつ突っ込んだ学問領域で、ある時代・地域でどのような経済が展開していたのかを描きます。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

日本植民地時代の台湾の経済の歴史を明らかにすることです。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

日本植民地の問題は現在でも東アジアの交流に大きな影響を与えています。そのため、様々なメディアで日本植民地に関するトピックが取り上げられます。しかし、それらの情報のなかには史実に基づかないもの、史実を一面的に解釈したものが含まれています。植民地研究は、玉石混交の情報を批判的に検討し、史実に基づいた交流を促すという意義があります。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

2023年度は「基礎ゼミⅡ」、「経済史」、「ゼミⅠ」、「歴史と経済」を担当します。講義では、文献を紹介することと、学生に出席を求めないことを重視しています。図書館には講義よりも優れた内容を持つ文献がたくさんあ

ります。そうした文献を読んで理解する方が、私の講義に出席するよりもずっと有意義だということです。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

学生に学術研究の作法を伝えることです。学術研究は「モノづくり」の一種です（生み出すものが「物体」か「知識」かの違いがあるだけです）。いわゆる「モノづくり」に作法があるように、学術研究にも作法があります。学術研究の作法を体得すれば、それぞれが置かれた領域で、その領域が抱える問題を解決する「知識」を生み出していくことができます。もちろん、簡単なことではありませんが、そういう研究者の卵を「学生」「大卒」と呼ぶのだと思います。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

ほぼ授業の予習です。授業の予習には授業時間の何倍も時間がかかります。授業アンケートで「熱意を感じない」という意見があるのですが、熱意はあるのです。学生が私の熱意を感じるかどうかだけの問題です。私もしばしば学生の「熱意を感じない」ことがあるのですが、それもきっと私が鈍感なだけだと信じています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

なぜ「戻ることになったとしたら」ではなく、「戻れるとしたら」と表現したのかが気になって答えられません。もしかしたら、質問者は社会人（この言葉は嫌いですが）よりも大学生の方が良いと無意識に思っているのかもしれない。

8. 新入生に一言お願いします。

私は、あなたがどのような答えを出すのかよりも、あなたがどのような問題に悩んでいるのかの方に興味があります。



宮川 敏治 (みやかわ としじ)

関西学院大学経済学部卒(1993年卒)

職歴：静岡大学、神戸大学、大阪経済大学を経て、2020年より甲南大学

1. 先生の専門分野は何ですか？

ゲーム理論です。特に、協力で発生した利益の分け方や協力関係の結び方の戦略的な側面を考察する交渉ゲーム理論を研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

- (1) 非協力交渉ゲーム理論による価格・競争・情報戦略の研究
- (2) 戦略的提携形成の理論
- (3) 非分割財配分、学校選択マッチングのメカニズム・デザイン

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

ゲーム理論は、人々が互いに影響を及ぼしあう社会において、相手がどのような行動をするかを予想したり、自分はどのように行動すべきかについてヒントを与えてくれる学問です。その中でも交渉ゲーム理論は、協力と裏切りの駆け引きや合意形成を深く探求する研究分野になります。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

「入門ミクロ・中級ミクロ・上級ミクロ経済学」です。数字や式、グラフがたくさん出てきて、数学が苦手な人には嫌われる科目ですが、(ミクロな存在である)個人がいかに行動するかを解明する「身近な」学問であることを分かってもらえるように講義しています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミではゲーム理論・実験経済学・行動経済学の研究手法を用いながらゼミ生それぞれのテーマにしたがって「グループ研究」を行っています。このグループ研究を通じて、ゲーム理論の戦略的思考を身につけるだけでなく、データ分析する統計的手法、および、自分の考えを伝えるためのプレゼンテーションの技術の修得をしてもらうようにしています。これらの思考・手法・技術の修得は、社会にでてからも役立つと考えているからです。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

そのとき取り組んでいる研究の「数学モデル」をつくったり、定理の証明をしています。なかなか専門誌に掲載が許されるような研究成果は出ませんが、めげずに取り組んでいます。その他の時間は、ゼミ生が、取り組んでいる「グループ研究」について話をしに研究室に代わる代わるやってきますので、何時間もわいわいがやがや議論をして過ごしています。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

いろいろな国の友人をつくって英語を話す機会をたくさん持ちたいです。現在の研究生活は、ほとんど英語でする必要があるのですが、英語で話すのが苦手で、未だに苦労しています。大学生の早い時期に取り組んでいたらもう少しましになるのではないかと淡い期待を抱いています。

8. 新入生に一言お願いします。

大学生の間に何でも良いので一生懸命になれるものを見つけてみてください。経済学を学ぶことを通じて何かしたいという気持ちになったら、ぜひ相談に来てください。力になります



宮本 舞 (みやもと まい)

甲南大学経済学部 卒業

神戸大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程 修了

博士課程後期課程 修了 (博士 (経済学))

1. 先生の専門分野は何ですか？
環境経済学。
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
環境関連技術の開発・普及に関する特許データを用いた実証分析。
3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？
持続可能な社会の実現に必要な分野であるとともに、経済学と他分野を定量的に繋ぐ学際的研究の発展に寄与できると考えています。
4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？
環境経済ⅠおよびⅡなどを主に担当しています。
環境問題に興味のある人もない人も問題を知っているだけでなく、問題を深く知り、その解決法を考えられる人になってほしいと思って授業をおこなっています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

まだまだ試行錯誤中ですが、自分で考えて進んでいくことと
いろんなタイプの人と交流することを学んでほしいと思っています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

授業準備や研究。手を動かしてばかりではなく、ぼーっと考え事をする時間も含まれます。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

長期留学に行く。実際に1ヶ月程度の短期でアメリカに行きましたが、帰ってきたときにもっと長く行けば良かったと後悔しました。
社会人になると大学生のどんなことでもできる4年間という時間の貴重さを実感したので、新入生の皆さんには有意義な4年間を過ごしてほしいと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

社会にはあなたにぴったりのやりたい仕事を用意されていないように、大学でも学びたいものが完全形で用意されているわけではありません。自分の工夫次第でとても面白くも、退屈にもなる4年間だと思います。皆さんの学生生活が充実したものになることを願っています。経済学を学んだから4年間が面白かった！と卒業時に感じてもらえるように、私も微力ながらサポートできればと思います。皆さんと一緒に学べるのを楽しみにしています。



村澤 康友(むらさわ やすとも)

京都大学経済学部卒、同経済学研究科修士課程修了、(株)三菱総合研究所勤務、ペンシルベニア大学経済学研究科博士課程修了、京都大学経済研究所講師、大阪府立大学経済学部助教授・教授を経て現職

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済統計、応用計量経済学

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

インフレ期待の計測、大学中退の意思決定の分析

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

データを「正しく」見るための手法を開発すること

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

2023年度の担当科目は以下の通りです。

講義科目：「統計入門」「中級統計学」「計量経済Ⅰ・Ⅱ」

演習科目：「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」「ゼミⅠ・Ⅱ」

講義科目では、データ分析の実力を身につけさせること（＝統計検定2級取得）を重視しています。理由はゼミ研究でも就職活動でも仕事でも役立つからです。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

統計検定2級を取得すること。ゼミ研究については、グループでなく個人で研究し、研究テーマを自分で選ぶこと。理由は「世界で通用する」ためには「個」の力が重要と思うからです。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

遠方在住なので自宅で研究し、大学では授業の準備と会議のみです。たまに同僚の先生とランチ後の雑談で情報交換します。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

令和の普通の大学生生活を送りたい。スマホも SNS もなかった昭和の大学生生活とどう違うか興味あります。

8. 新入生に一言お願いします。

いろんな経験をして下さい。それが人生の財産です。



森 剛志 (もり たけし)

1970年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士号取得)。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。

主な著書「日本のお金持ち研究」(共著)、「日本のお医者さん研究」(共著)。

1. 先生の専門分野は何ですか？
家計の経済、健康経済、行動経済

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
経済格差。経済格差。積極財政

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？
国民の生活をよくすること。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？
家計の経済、健康経済。 学生の心をつかむこと。重要なので。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

学生の心をつかむこと。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？

情報収集

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

旅行。好きだから。

8. 新入生に一言お願いします。

人生では、うまくいかないことがあります。どうしようもないほどの屈辱をうけることもあります。でも、いつも心にバランスを。そして少しの勇気と情熱を！



森本 裕（もりもと ゆう）

1988 年生

京都大学経済学研究科博士課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

航空産業と航空政策

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

特に、航空ネットワークの形成を研究しています。近年は、ハブ・スポーク型ネットワークとあって、大規模な空港を中心としたネットワークの形成が進んでいます。中心となるべく、各国の主要空港（例：日本の成田 V.S. 韓国の仁川）が競争しているのですが、競争に勝ち残るにはどうすればいいかを考えています。

3. 専門分野もしくは研究内容の意義は何であるとお考えですか？

研究を通じてよりよい航空戦略を立案することができれば、日本の空をより便利で国際競争力のあるものにすることができます。そうすると、企業がグローバルに事業を展開しやすくなったり、外国人を日本に呼び込みやすくなります。

4. 先生の担当科目は何ですか？また、担当科目のうち講義形式の授業において重視していることとその理由は何ですか？

入門ミクロ経済学と産業経済を担当しています。講義では、学生の理解度に応じた授業をすることや、図表を多く用いて視覚的に理解できるよう

にすることに努めています。

5. 担当されているゼミにおいて特に重視していることとその理由は何ですか？

ゼミは学生が主体的に学ぶものだと考えていますので、先生が話す授業にならないようにしています。研究テーマを設定し、それを分析し、そして研究成果を出すという一連の流れを学生ができるように手助けします。私はあくまでも「アドバイザー」という立ち位置に徹し、あまりでしゃばりすぎないようにしています。

6. 大学におられるとき、授業の時間以外にはどのようなことをされていますか？


大学教員の三大業務は、「教育」・「研究」・「学務」だと言われているので、授業以外では研究と学務ということになります。研究の仕事としては、データや研究資料を収集し、それを分析し、その結果を論文にまとめるということをしています。学務は、いろいろな会議に出席する・入試の試験監督をする・来校した高校生の相手をする・オープンキャンパスの運営をするといったことがあります。

7. もしも大学生に戻れるとしたら、何をされたいですか？またその理由は何ですか？

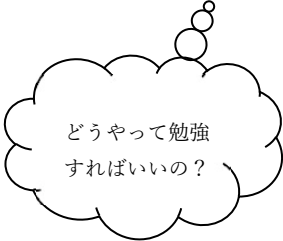
留学をしなかったのですが、大学生に戻るならぜひしてみたいです。本格的な留学には、1年間というまとまった時間が必要ですので、学生時代にしかできないことです。ヨーロッパの国に行って、現地の人たちと交流しながら、勉強したり文化体験をしたいですね。

8. 新入生に一言お願いします。

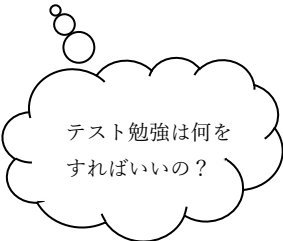
何か一つ、「自分にしかできないこと」「自分しか知らないこと」を作ってください。NO.1があれば、就活も上手くいくでしょうし、社会人になってからも重宝されるでしょう。



先輩から 学習アドバイス



どうやって勉強
すればいいの？



テスト勉強は何を
すればいいの？

先輩から学習アドバイス！

経済学部では必修科目として、「経済入門Ⅰ」「経済入門Ⅱ」「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」の4つを履修します。しかし、大学の授業を初めて受けるみなさんはどのように勉強すればいいのか、テスト対策はどのようにすればいいのかなど不安に思うことがたくさんあるかもしれません。そこで、経済学部の先輩が不安を解決したいと思います！

(授業内容などは2022年度の情報を参考にしており、変更の可能性がございます。また、これらのアドバイスはあくまで先輩からの非公式のものであり、講義担当者の意図とは異なる場合があります。授業についての詳細は必ずシラバスを確認するようにしてください。)

経済入門Ⅰ

【授業概要】

この授業は「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」などと同様に、大教室で講義を受ける「講義クラス」と、少人数でグループワーク等を行う「演習クラス」の2部構成で行われます。また、「講義クラス」の全15回が3人の先生方によるリレー形式で行われ、「産業経済」、「国際経済」、「公共経済」の3つの分野を学びます。(参考:2022年度シラバスより)

【普段の勉強方法】

- ・ 講義の中で、試験のヒントを貰えることが多かったののでしっかりと講義に出席して丁寧にノートを取っておくことが重要です。(2022年度 対面で履修)
- ・ まずは講義に休まず出席します。そして授業資料を用いて先生の講義を聞き、大事なところのメモをとりましょう。試験問題は授業資料から出されますので、授業資料を完璧に理解できたら試験で9割の点数は確実だと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ ミクロやマクロよりも記憶力が重要になるので、普段から講義に1限からしっかり行って毎授業覚えることが1番いいと思います。(2022年度 対面で履修)

【試験対策について】

- ・ 半期で3分野を学ぶことになるため、1つ1つの分野に丁寧に取り組むためにも早期から試験勉強を始めることが大切です。My KONANのQ&A機能を活用したり、普段からノートテイクをしたりすることでテスト対策が格段に楽になります。(2022年度 対面で履修)

経済入門Ⅱ

【授業概要】

この授業では、世の中の経済活動におけるお金の流れについての基本的なしくみと、経済学における歴史的アプローチの重要性を学びます。全体は、「財政」「金融」「経済の歴史と思想」の3部から構成されます。(2022年度シラバスより)

【普段の勉強方法】

- ・ 3分野合わせるとかなりの量の授業資料があったので、資料に直接書き込んでいく形で勉強していました。苦手な分野などは、資料を見返すなど重点的に復習することが大切だと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 経済入門Ⅱでは、金融・財政・経済の歴史と思想の内容を取り扱います。一見難しいように感じますが、講義に出席し、先生の話をしっかり聞いていれば理解できます。また、高校生の時に学んだ社会科目の内容と同じ部分もあります。それらを活かして内容を理解していくようにしましょう。(2022年度 対面で履修)
- ・ 後期で慣れてきて1限はきついかもかもしれませんが、講義に毎回出席することが重要だと思います。出席して頭の片隅にでも内容があれば、テスト前に思い出しやすいと思います。(2022年度 対面で履修)

【試験対策について】

- ・ 3分野を学ぶので暗記をしなければならないことが多いので、ノートにまとめ直すなど早めにテスト対策を始めておくことが重要だと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 練習問題やテスト対策問題など先生方が提示してくださっている場合はそれを何も見なくても解けるようにすることがまずは大事です。また、練習問題などが無い場合は記憶力の問題だと思うので、しっかり内容を理解しながら記憶すればよいと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 授業ノートをさらに整理したテスト対策ノートを作っていました。また、授業内で文章で説明する問題が出されたことがあったため、言葉をただ覚えるだけでなくその意味や内容、仕組みをきちんと説明できるように心がけて学習していました。なお、課題の復習や見直もテスト対策にとっても役立ちました。課題は出し終わってもテストが終わるまでは手元に残したほうがよいと思います。(2022年度 対面で履修)

入門ミクロ経済学

【授業概要】

大教室で授業を受ける「講義クラス」1コマ、少人数でグループワーク等を行う「演習クラス」1コマの計2コマで行われます。この科目では、需要と供給や市場のはたらきなど、ミクロ経済学の基本的な事柄を学びます。

【普段の勉強方法】

- ・ 演習クラスで配布されたプリントを繰り返し見て復習していました。プリントはその回の授業内容に沿った問題が中心だったので、理解できるまでクラスメイトや先生に質問して疑問点を次の日に持ち越さないように心がけました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 需要曲線と供給曲線を取り扱う問題が多いです。なので、曲線の仕組み・シフトを理解して、そこから読み取れることを把握できるようにすることが大切だと思います。私も最初は難しく理解できませんでしたが、授業と予習・復習を重ねるとだんだん理解できるようになっていきました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 需要と供給の理解ができていないと、苦しいのでまずはそこを理解した上で勉強するべきだと思います。また、自分でグラフを描けるようになることも重要です。(2022年度 対面で履修)

【試験対策について】

- ・ 授業中に配られたプリントの問題を繰り返し解いて、何も見なくても解けるようにしました。また、中間テストや中間レポートもしっかり見直してテストに挑みました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 需要曲線と供給曲線を取り扱う問題が多いです。なので曲線の仕組み・シフトを理解して、そこから読み取れることを把握できるようにすることが大切だと思います。私も最初は難しく理解できませんでしたが、授業と予習・復習を重ねるとだんだん理解できるようになっていきました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 需要と供給の理解ができていないと、苦しいのでまずはそこを理解した上で勉強するべきだと思います。また、自分でグラフを描けるようになることも重要です。(2022年度 対面で履修)

入門マクロ経済学

【授業概要】


マクロ経済学の基礎を学びます。「マクロ経済学」とは、一国の経済を俯瞰的かつ全体的に捉え、その仕組みを明らかにする経済学の基礎的な分野です。マクロ経済学の主な課題は、一国の経済活動の規模やその変化が、どのような要因によって、いかにして決定されるのかを分析して、私たちの生活や人生に大きな影響を与えうる景気循環や経済成長などが生じる原因と仕組みを明らかにすることです。本授業科目では、そのために必要となる基礎的な諸概念とそれらの間の相互関係について学びます。(2022年度シラバスより)

【普段の勉強方法】

- ・ マクロ経済学では多くの公式を用います。公式を覚える時に、ただ記号の羅列で暗記するだけでは実際に問題を解く時に応用できません。なので、記号が表していることは何なのかと公式が成り立つ経緯を理解したうえで問題に望むと解きやすいと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 後から見返したときにもよく分かるように、講義のノートを丁寧にまとめることを心がけました。また、演習クラスで解く練習問題を何度も解き直しました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 計算問題がミクロに比べて多くなるので、計算力が必要になります。問題から必要な数字を汲み取ることと公式を覚えることが勉強の上で基本的には重要だと思います。(2022年度 対面で履修)

【試験対策について】

- ・ 授業中の練習問題や中間テストを最低2回は解き直して、テストに挑みます。講義のノートが丁寧であればあるほどテスト対策の効率がアップします。(2022年度 対面で履修)
- ・ 試験勉強は1人でするときと、友達とするときの両方の時間を設けました。1人でするときは分からないことをピックアップしたり、ノートにまとめたりします。それを友達とするときには共有し、分からないことについて質問したり答えたりします。そしてまた1人でするときに暗記、練習問題を繰り返します。そうすると効率よく勉強できました。(2022年度 対面で履修)



卒業生からの メッセージ

新入生の皆さんへ

2022 年度卒業生
足立泰美ゼミナール 山本 凌平

新入生の皆さん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。ここまでページを捲って読んでくださるという事は、きっと真面目な方なのでしょう。もう少しだけお付き合いください。

皆さんは今、この「入門のしおり」を手にし、これからの学生生活どうなるのだろうかと不安に思っている人がほとんどだと思います。私も同じでした。2019 年 4 月同じようにこのしおりを手にし、同じように不安になっていました。しかし「最高の仲間と出会うこと」で不安は楽しみになります。私は経済学会に所属し、素晴らしい先輩方や頼もしい後輩に出会い、充実した 4 年間で過ごしました。大学で出会った仲間は一生の仲間になると思います。仲間がいるとご飯にいたり、お酒を飲みにいたり、また旅行に行ったりと私自身も本当に楽しかったです。ぜひこの 4 年間で最高の仲間を作ってください。

大学生活は、「人生の夏休み」と言われる程自由です。この「4 年間の自由」をぜひフル活用してほしいと思います。経済の勉強をすることはもちろんですが、それ以上に部活動やサークルに専念したり、長期休みを利用して友人と旅行したりとこの大学での 4 年間でフルに活用し楽しんでください。大学で学ぶことは経済の勉強だけではありません。部活動や遊びなどでもたくさん学ぶことはあります。社会人になったときに大学生活楽しかったなと思えるような日々を過ごしてください。

最後に大学生活で最も大切なことは、「単位の取得」です。先程も言ったように大学生活は自由です。自由だからと言って、授業に参加しなかったり、ひたすらアルバイトに勤しんだり、朝まで飲み明かしてしまうと、4 年後大変な事になります。4 回生になったときに先生に「単位をください。」と泣きついてても単位はもらえません。いい意味で大学の先生方は、厳しく甘くないです。ですので、しっかりと計画を立てて大学生活を送ってください。少し不安になった方もいると思います。大丈夫です。高校生までのように勉強しておけば、単位が取れないとはならないので、安心してください。

人生の夏休み 5 年目突入！などとはならないように大学生活を満喫して下さい。
皆さんの楽しい大学生活が送れることを願っています。

「新入生の皆さんへ、卒業生より」

2023 年卒業生

寺尾ゼミ 前田 紗英

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私はこの春から社会人になる 2023 年度の卒業生です。

私も 4 年前、皆さんと同じように不安と期待に胸を膨らませ、緊張しながら入学式を迎えていました。今日はそんな少しか早く大学生になった私から、大学生活を有意義なものにするための秘訣をご紹介します。

1 つ目は、目標を持って行動することです。高校までは、塾の先生や学校の先生から「これをやりなさい。次はこうの方が良い。その次は…」と指示してもらっていたと思います。しかし、大学という所は受講する講義や関わる人、所属する団体など何から何まで全部自分が決めて、良くも悪くも自分次第でどうにでもなる所です。だからこそ、常に目標を持っていれば、それを達成するために自主的に行動するようになり、4 年間で振り返った時、充実した大学生活が送れたと実感できると思います。

2 つ目は、家族への感謝を忘れないことです。近年、大学進学率が上がっていますが、それでも色々な事情で大学に行きたくても行けない人は一定数います。皆さんが今日、数ある大学の中から甲南大学を選んで、入学出来ていることを当たり前だと思わず、ご家族に感謝してください。その気持ちを忘れずに大学生活を送れば、必ず行動に表れ、勉強も課外活動も頑張れるはずです。

以上が、私が考える大学生活を有意義なものにするための秘訣です。是非、参考にしてみてください。

最後に、もし良かったら 5 号館 5 階のコモンルームに足を運んでみてください。そこには、頼りになる先輩方が快く皆さんを迎えてくれます。そして、皆さんの甲南大学での 4 年間で最高のものになることを心から願っています。



経済学会について

経済学会へようこそ！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！甲南大学経済学部に入學した皆さんは同時に「甲南大学経済学会」の会員となりました。

経済学会とは？

甲南大学経済学会とは、専任教員・経済学部生・大学院学生で構成されています。経済学会は、経済学部教員・学生と相互にコミュニケーションをとりながら、皆さんがより大学生活を送れるように日々活動を行っています。

主な行事紹介

・経済学部インナーゼミナール大会(12月)

ゼミ担当教員のもとで学生が研究活動を行う授業である『ゼミ』において行った研究成果を発表する大会です。経済学会が企画・運営する最大の行事です。

・講演会(5月、10月)

経済学会では、前期と後期に一回ずつ講演会を企画し、実施しています。講演会では、外部の方に公演を行って頂いています。

・ゼミ紹介(2回生以上対象)

後期から始まるゼミⅠを選択する際に参考にします。
今年度はオンラインで開催予定です。対象は、2回生以上ですが、1回生にもゼミについて知って頂くことができます。



～講演会の様子～

詳しく知りたい方は、右記のQRコードから
甲南大学経済学会ホームページをご覧ください

経済学会 HP
QRコード➡



～学生評議員・スタッフにインタビュー～

経済学会の評議員になりたいと思ったきっかけは何ですか？



私が経済学会に入ったきっかけは、経済学会という組織の存在を知り、実際にコモンルームへ足を運んでみたことでした。大学生活について全くわからない私の疑問に対して、先輩が1つ1つ丁寧に回答してくださりました。「経済学会の先輩」は、なにもわからない私にとって、とても心強い存在でした。私もいつか学生にとって心強い存在だと思われるようなサポートをしてみたい、と思い、経済学会の評議員になることを決めました。

経済学会の評議員になってよかったことはありますか？



経済学会に入ってよかったと感じることは沢山ありますが、特に社会に出た後に役立つ知識が活動を通して自然と身につく点でよかったと感じています。例えば、先生方や外部の方に対してメールをお送りしたり、学生自らアイデアを出したり、提案することがあります。これは、経済学会の評議員になったからこそできる経験であり、とても貴重な体験であったと感じます。



経済学会メンバー募集！


経済学会に興味がある方はコモンルーム(5号館5階)へ！

経済学会ではTwitterにて活動風景などを投稿しています
DM、質問場尾などで質問も受け付けておりますので
是非ご覧ください！

Twitter

QRコード →





**甲南大学
経済学会会則**

甲 南 大 学 経 済 学 会 会 則

昭和 35 年 2 月 24 日	制定承認
昭和 41 年 12 月 14 日	改正承認
昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会改正承認
昭和 49 年 5 月 16 日	経済学会総会改正承認
昭和 52 年 5 月 18 日	経済学会総会改正承認
昭和 58 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 2 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 3 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 8 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 9 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 13 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 15 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 16 年 5 月 26 日	経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務局を甲南大学経済学部内におく。

第 2 条 本会は、全員加盟を原則として、甲南大学経済学部生・甲南大学院社会科学研究科経済学専攻の大学院生ならびに甲南大学経済学部の専任教員によって組織する。また、学部卒業生・大学院修了者のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者も加入することができる。

第 3 条 会費については以下のとおりに定める。

教 員 年 会 費 5,000 円

学 部 学 生 会 費（在学期間） 20,000 円

大学院学生 会 費（在学期間） 10,000 円

又、卒業生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。

なお、いったん納入された会費は、理由のいかんに関わらず返還しない。

第 4 条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。

第 5 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. インナーゼミナール大会
2. 講演会
3. 研究会
4. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
5. 学会ニュースの発行
6. 研究・教育資料の収集・管理
7. 専任教員による研究書の刊行助成
8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項

第 6 条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならない。総会規程は別に定める。

第 7 条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員 8 名、学生 8 名以上 20 名以下により構成され、任期は 1 年とする。評議員会規程は別に定める。

第 8 条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評議員会を招集する。

第 9 条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員 1 名ならびに学生 1 名ないし 2 名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務と記録を統括する。

2. 会計委員（教員 1 名ならびに学生 1 名ないし 2 名）は、本会の事業経費を管理する。
3. 管財委員（教員 1 名ならびに学生 2 名ないし 3 名）は、研究・教育資料の収集を行う。
4. 編集委員（教員 2 名ならびに学生 2 名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会ニュース等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
5. 企画委員（教員 2 名ならびに学生 2 名以上）は、研究会、講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。

なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

- 第 10 条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。
- 第 11 条 本会の事業とそれにもなう予算の執行を厳正・公平に対処すべく、教員 1 名ならびに学生 1 名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は 1 年とする。
- 第 12 条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。
- 第 13 条 本会則は、総会規程第 6 条に基づいて改正することができる。

総 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会制定承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認

- 第 1 条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。
- 第 2 条 原則として毎年 5 月に定期総会が開催されなければならない。
- 第 3 条 評議員長は、次の場合 2 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。
1. 評議員会が必要と認めたとき
 2. 経済学部教員 3 分の 2 以上の要求があったとき
 3. 学生会員 50 名以上の要求があったとき
 4. 卒業生会員 50 名以上の要求があったとき
- 第 4 条 総会は、卒業生会員を除く全会員の 5 分の 1 以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第 5 条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。
- 第 6 条 経済学会会則の改正は、出席会員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

評 議 員 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日 経済学会総会改正承認
平成 22 年 5 月 19 日 経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。
- 第 2 条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。
1. 予算および決算
 2. 活動報告
 3. その他評議員会が必要と認めた事項
- 第 3 条 評議員長は、原則として毎月 1 回定期評議員会を招集しなければならない。
- 第 4 条 評議員長は、次の場合 10 日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。
1. 評議員長が必要と認めたとき
 2. 評議員 3 名以上が必要と認めたとき
 3. 学生会員 30 名以上の要求があったとき
 4. 卒業生会員 30 名以上の要求があったとき
- 第 5 条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第 6 条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。
- 付 則 4 年次に評議員に就任した学生は卒業をもって退任とする。また、評議員の辞任は、評議員長へ辞任届を提出しなければならない。その書式は別に定める。

卒 業 生 ・ 修 了 者 会 員 細 則

昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会制定承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 甲南大学経済学部卒業生及び社会科学部研究科経済学専攻の修了者のうち、経済学会への入会を希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度または修了年度、現住所を経済学会評議員会に申請し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。申請は学位授与式 2 ヶ月前からできるものとする。
- 第 2 条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年 1 月から 3 月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。

- 第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2カ年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。
- 第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。
- 第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。